

奈良大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は建学の精神にもとづき、わが国屈指の歴史と文化に恵まれた奈良の地を活かし、学生ひとり一人の主体的な学びを重視した教育を行う。それを通じて修得した知識と経験をもとに、社会の一員として伝統への理解と現代感覚を兼ね備え、生涯にわたり主体的に活躍できる有為の人材の育成を目的としている。その実現のために、本学は所定の教育課程を修め、つぎに掲げる6つの能力を身につけた者に、学士の学位を授与する。

1. 知識・技能の理解と活用
2. 問題発見・解決力
3. 多様性の理解
4. コミュニケーション能力
5. 自立的で意欲的な態度
6. 倫理観・規範性

	文学部	社会学部
1.知識・技能の理解と活用	幅広く語学・教養科目を履修して柔軟な思考力を養うとともに、人文科学の理念にもとづいて、各学科の基礎から専門へと深化する学位プログラムにしたがって専門的な知識や技能を修得し、それらを応用する能力を身につけている。生活のさまざまな場面で実際に起こる問題に対して、自らのおかれた立場を認識したうえで、それらの知識や技能を柔軟に再構成して活用することができる。	幅広く語学・教養科目を履修して柔軟な思考力を養うとともに、社会科学の諸領域がこれまで蓄積してきた基礎的および専門的知識を体系的に理解する能力を身につけている。さらに、現代社会のさまざまな現象の解明に役立つような知識や技能を修得し、現実生活においてそれらの知識・技能を活用し、社会問題の解決につなげることができる。
2.問題発見・解決力	人文科学の諸領域の学修によって得られた的確な思考力や判断力によって情報の収集や分析を行い、問題を正しく把握し認識する能力を身につけている。社会のさまざまな状況に応じて、収集した情報を自分のみならず、他人とも共有することで、共感的理解や建設的批判を導きつつ、幅広い観点から解決に至る考えや手段を構想して、問題の解決に向けて前進することができる。	社会科学の諸領域の知識をもとにして広く社会のさまざまな問題を発見し、客観的なデータに基づいて解決の方法を探索したり提案したりすることができる能力を身につけている。さまざまな状況に応じて適切な情報ツールを活用した情報収集や情報分析ができる思考力や判断力を身につけており、得られた知見を他人とも共有し討議することで、問題の解決に向けて前進することができる。
3.多様性の理解	幅広い視野をもち、自分の考えと異なるさまざまな意見や考えがあることがわかる能力を身につけている。よりよい社会の実現をめざして、自分が属する集団や地域のみならず、その集団や地域を越えた多様な人々と協働し、自分の属する集団や地域の特性を理解し、他の人々にわかりやすく示すとともに、彼らのもつ歴史や文化を尊重しながら行動することができる。	幅広い視野をもち、社会には多様な属性や価値観をもつ人々が存在することを認識し、グローバル化した現代のさまざまな社会・文化を理解する能力を身につけている。自分たちと異なる人々も暮らしているという現実を直視し、自分たちだけでなく彼らをも社会や世界の一員ととらえ、それらの人々と協働して社会を作っているという関係を理解し、互いを尊重しながら行動することができる。
4.コミュニケーション能力	会話や文章を通じて、他人に対して自分の立場・気持ち・意見をわかりやすく伝え、また相手の真意を理解する能力を身につけている。さまざまな手段によって他人と交流できるようになった情報化社会において、時と場合に応じて適切なコミュニケーション・メディアを選択し、相手の立場・気持ち・意見に配慮しながら、自分の立場・気持ち・意見を望ましい言葉によって表すことができる。	国内外を問わず社会生活を営むなかで、他人の立場・気持ち・意見を受け止めて理解するとともに、プレゼンテーションや文章表現・理解などのコミュニケーション能力を身につけている。自分の立場・気持ち・意見を明確に説明することができるだけでなく、相手の立場・気持ち・意見にも配慮することができ、さまざまな人々と協働して課題・問題に取り組むことができる。
5.自立的で意欲的な態度	社会生活のさまざまな場面において、人文科学の諸領域の学修で培った先人の知恵や人々の営み、地域の文化・特性などの理解や、自分自身の経験を生かしながら、立場をわきまえ、意欲的かつ着実に行動できる能力を身につけている。社会に横たわるさまざまな課題・問題に対して傍観することなく、自分の果たすべき役割と責任を明確にしたうえで、主体的・能動的に行動することができる。	社会科学の諸領域の学修で培った、先入観や偏見にとらわれない知識と態度を積極的に生かして目標を立て、その実現のために自分の果たすべき役割と責任を自覚できる能力を身につけている。社会・集団の中で意欲的にかかわろうとする態度をもち、さらに、他人との相互理解も深めつつ、主体的・能動的にさまざまな課題・問題に取り組むことができる。
6.倫理観・規範性	建学の精神にもとづいて、善悪を正しく見極め、社会のルールを遵守したうえで、自分の進むべき方向や、他人との相互理解を深める能力を身につけている。自分自身が地域の文化や伝統に育まれたものであることを知り、地域社会を構成する一員であるという自覚と責任をもって行動し、独断や偏見にもとづく主張や態度に対しては毅然とした態度で臨むことができる。	建学の精神にもとづいて、豊かな人間性と高い倫理観を備え、自分の良心にのっとり社会のルールを遵守して行動できる能力を身につけている。他人のリアリティを理解し尊重しようとする姿勢をもつと同時に、自分にとっての正しさと他人や社会にとっての正しさをそれぞれ相対化することができ、社会生活において倫理的な実践をすることができる。